



親子で楽しみ、多くの交流が生まれた
第9回子育てフェスティバル

11月21日、町立鳩山幼稚園で、親子のふれあいや子育て関係団体の交流を目的に「第9回鳩山町子育てフェスティバル」(はとやま子育てネットワークくるっく主催。事務局：役場健康福祉課)が開催され、多くの方が多彩な催しを楽しみました。

当日は、来場者を魅了した劇団かしの樹による影絵劇からスタート(写真①②)。その後、来場者は毎年人気のバザーでお気に入りの商品を探したり(③)、山村学園短期大学保育学科学生の手作りのお楽しみコーナー(④)や、子どもが大好きな新聞プール(⑤)やわたあめなどの軽食販売(⑥)などを親子で楽しみました。

また、今回の催しでは「保護者や少し大きなお子さんも楽しめるようにしたかった」とくるっく代表の濱野麻衣さんが語るように、季節の寄せ植え(⑦)やトールペイントなどの大人向けのワークショップと、どろだんご作り(⑧)や割りばしてっぼうづくり(⑨)なども用意されました。

イベントの最後は、恒例の「お手紙風船」。参加者の思いを込めたメッセージカード付きの約150個の風船が、歓声とともに一斉に舞い上がりました(⑩⑪)。



**福岡 次郎さん、高山 英男さんが
埼玉県知事表彰**

11月14日付けで福岡次郎さん(69歳・大橋)と高山英男さん(66歳・赤沼)が埼玉県知事表彰を受け、11月20日に町役場で伝達式が行われました。

福岡さんは、平成5年からの4年間を鳩山町商工会監事、平成11年からの8年間を同会副会長、平成18年から現在までの9年間にわたり鳩山町商工会長として、産業の振興にご尽力されています。

高山さんは、昭和46年5月から37年余にわたり鳩山村及び町職員を、平成20年10月から4年間にわたり鳩山町副町長として、延べ41年余にわたり、地方自治の振興にご尽力されました。

県知事表彰を受けた福岡さん(写真左)と高山さん(写真右)



旭日双光章を受章した松本さん

**松本 好生さんが旭日双光章、
青木 滋磨さんが瑞宝小綬章を受章**

11月3日付けの平成27年秋の叙勲で、町内でも松本好生さん(81歳・小用)と青木滋磨さん(77歳・松ヶ丘)が各章を受章されました。

松本さんは、昭和59年6月から28年間にわたり、鳩山町選挙管理委員会委員を務められ、うち24年間を同委員長としてご活躍されたことから、旭日双光章の受章となりました。

青木さんは、元日本電信電話公社国際局長や独立行政法人国際協力機構(JICA)において、国内外の電気通信分野の発展に長年にわたり貢献されたことから、瑞宝小綬章の受章となりました。

審議会による答申と町議会の議決を経て
第5次鳩山町総合計画を一部改定

「第5次鳩山町総合計画一部改定案」について、町長より諮問を受けた鳩山町総合振興計画審議会が、11月12日、町長公室で改定案に関する答申書を小峰孝雄町長に手渡しました。

公募委員や有識者等で構成された同審議会では、平成27年7月からこれまで全5回の会議を重ね、一部改定案について調査及び審議を重ねてきました。町では、本答申を踏まえ、同計画の一部改定案を平成27年第4回定例会に上程し、12月8日に町議会の議決をいただきました。

答申書を提出した石井会長(写真右)と福岡副会長(写真左)



表彰を受けた、(前列左から)岡田さん、村田さん、今福さん、山下さん
代理の田中校長

鳩中生4人が各賞を受賞
税に関する作文表彰式

税について理解を深めてもらうため、中学生と高校生を対象に毎年行われている「税に関する作文」で、鳩山中学校から4名の生徒が各賞を受賞しました。生徒たちは、11月18日に町役場で行われた表彰式で、小峰孝雄町長らからお祝いの言葉をもらいました。

なお、受賞者は以下のとおりです。
【埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞】岡田 亜美さん(1年)、【鳩山町長賞】村田 日和さん(2年)、【東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞】今福 亜美さん(1年)、【東松山県税事務所賞】山下 知華さん(2年)

※12月2日現在、お手紙風船のお返事が、千葉県や茨城県などから34通届きました。「遠くから届いたことにびっくり」「幸せな気持ちになりました」など、心温まるメッセージを多くいただきました。ありがとうございました!

このイベントでは初となったキッズダンスは、世代を超えた新たな交流をたくさん生みました。



ニュータウンふくしプラザで クリスマス&オープンカフェ

12月6日、ニュータウンふくしプラザで、「第3回クリスマス&オープンカフェ〜つなぐ手で地域が輝くまち〜」が開催されました。ボランティアの皆さんによる手づくりのイベント会場は多くの人でにぎわい、さまざまな交流が生まれました。

プラザの利用者やボランティアの方などにより鮮やかに彩られた会場では、ミニコンサートも行われ、音楽に誘われて立ち寄る方もいました。また、来場者は、パンや小物販売、誰もが楽しめるスカットボールなどを思い思いに楽しみました。

来場者の体と心を温めたのは、200人分のおいしい豚汁。そして、その準備と当日のおもてなしを行う、ボランティアの皆さんの気配りや優しさも、訪れた人の心をあたためていました。

「初めて来た」という来場者や、「楽しかった」という方も多かった交流イベント。今回の出会いや体験が、新たな交流のきっかけになれば、主催者が目指す、人々が手を取り合って、地域や人がもっと元気に、もっと住みよい町になっていくのかもしれない。



大好評だった
熱々の豚汁



▲はーとんもみんなとイベントを楽しんだよ



▶音楽もクリスマススムードを盛り上げました

今宿小の児童が古典落語から表現力等を学ぶ 次代を担う子どもの文化芸術体験事業

11月26日、今宿小学校で「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)」による演劇鑑賞教室が行われ、児童らは、劇団「前進座」の話や芝居から江戸時代の生活ぶりや、表現力について学びました。

鑑賞後、児童は前進座の皆さんにお礼の手紙を書きました。「江戸のことがよく分かりました」「演技が面白く、声も出ていて、目線や表情の使い方がとても上手でした」「前進座の皆さんと演技ができたらと想像してみると、ワクワクドキドキでした」などと、楽しんだことを素直に伝えていました。



児童
舞台上で声の出し方などを体験する



児童
成長を願ってウグイを放流する

きれいな川を願って 亀井小児童が越辺川にウグイを放流

12月2日、「きれいな川づくり作戦」事業として、亀井小学校5年生が西部漁業協同組合の協力を受けウグイ約1,000匹を放流しました。この事業は、身近な川での魚放流体験を通して、清流を残していくことや、魚類の保護と増殖を目指しています。

児童たちは、周辺のごみ拾いを行った後、たらいの中で元気に泳ぎ回るウグイを越辺川に放しました。「初めて触った」という声も多かった児童たちは、元気に泳ぎ回るウグイを見て、「かわいい」「大きくなってね」などと声をかけていました。

70チームがたすきリレーで完走 第33回鳩山駅伝大会

11月29日、第33回鳩山駅伝大会が開催され、多くの選手が、たすきをつなぎ秋の鳩山路を駆け抜けました。今年は、町内外から過去最大となる70チームが参加。各チームの選手らが、沿道からの声援を受けるなど、駅伝を通じて交流を深めました。

各部の表彰結果は、以下のとおりです。

【第1部 一般の部(参加: 31チーム)】第1位: 鳩山高校駅伝チーム(41分40秒)、第2位: 坂戸西高C(42分26秒)、第3位: 東松山市立東中学校(43分24秒)

【第1部 女子の部(参加: 11チーム)】第1位: 山村国際高等学校(50分52秒)、第2位: 松山北中 陸上部女子(51分14秒)、第3位: 坂戸西高(54分12秒)

【第2部 少年の部(参加: 19チーム)】第1位: 東松山陸上スポ少 あゆみん(35分12秒)、第2位: 南小スポーツ少年団ムサシ(35分27秒)、第3位: J J F KIDS(35分48秒)

【第2部 一般の部(参加: 9チーム)】第1位: 東松山陸友会(33分55秒)、第2位: 東松山陸上スポ少 父母会&コーチ(34分08秒)、第3位: 学童銀河フレンズ(37分15秒)



勢いよくスタート(一部・スタート地点)



みんなで走りきったゴールはうれしさも倍増(一部・第3中継所)



お菓子を
使った作品
づくりを
楽しむ
子どもたち

鳩山町青少年相談員協議会による 「お菓子の家づくり」

12月6日、町ふれあいセンターで「ウキウキサンデー冬スペシャル〜お菓子の家づくり」が行われ、子どもたちが、自由な発想で作品づくりを楽しみました。

主催したのは、地域のお兄さんお姉さんとして活動する鳩山町青少年相談員協議会。甘い香りに満ちた会場には、楽しそうに作品をつくる子どもたちと一緒に、たくさんの笑顔がはじけていました。

なお、町では青少年相談員を募集中です。あなたの力で、子どもたちの笑顔をもっと増やしてみませんか?
※問合せは事務局の役場健康福祉課(☎ 296-1241)まで

都市部と鳩山の地域間交流 竹本で中山間地域活動収穫祭

11月29日、竹本地区で「中山間地域活動収穫祭」が行われ、同地区と以前から交流のある、都内にある事業者の従業員らとその家族が、近くの農園で自身らが植え付けた農産物などを味わいました。参加者は、収穫作業体験した鳩山産のカボチャやダイコンなどの農産物に大満足していました。

同地区では、これまでも農業体験により都市部の方々との交流を深めてきました。活動をきっかけに農業を始めた方もおり、関係者は「今後も農業の担い手づくりにつなげていきたい」と話していました。



秋の実りを
囲んで
楽しいひととき